

モジュラー式座位保持装置

MOSAIC

取扱説明書

この度は有菌製作所の製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
正しく安全にご使用いただくために、ご使用前に必ずこの「取扱説明書」お読みください。
必要な時に読めるように大切に保管してください。



Arizono Bespoke

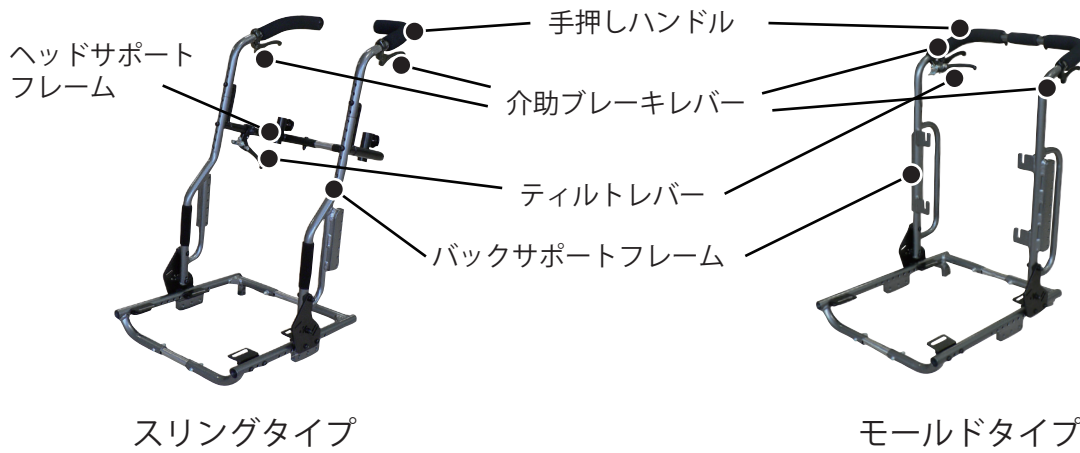
株式会社 有菌製作所

目 次

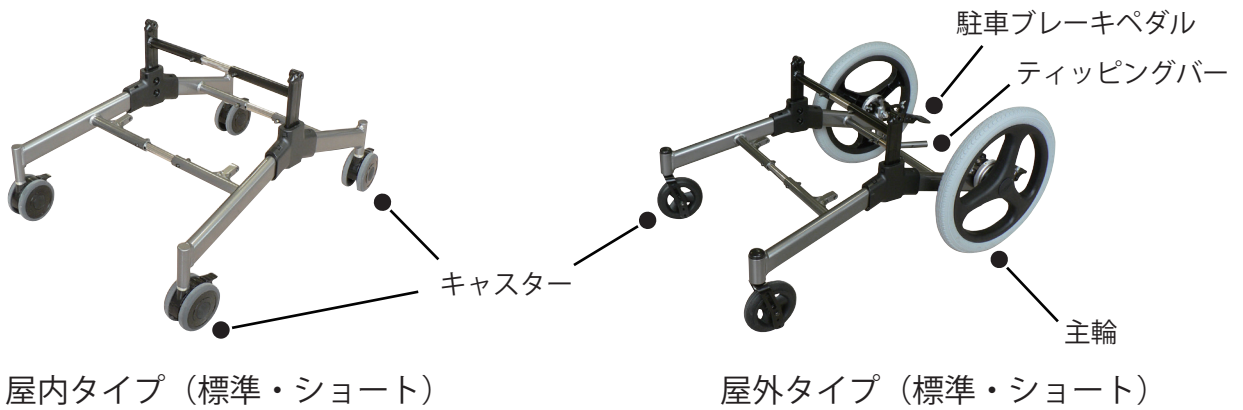
1. 各部の名称	．．．．．	P2
2. 製品の特徴	．．．．．	P3
3. 製品の使用方法	．．．．．	P3～6
4. 各部の調節・取り付け方法	．．．．．	P7～13
5. 支持部の取り付け方法	．．．．．	P14
6. 安全にお使いいただくために	．．．．．	P15
7. お手入れ方法	．．．．．	P15
8. 仕様	．．．．．	P16

1. 各部の名称

上部フレーム



下部フレーム



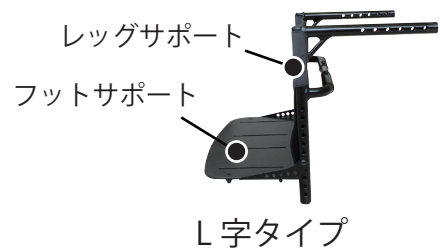
ヘッドフレーム



アームサポート



レッグ・フットサポート



2. 製品の特徴

- (1) モジュラー式座位保持装置「MOSAIC」専用フレームです。
- (2) 上部フレーム（スリングタイプ、モールドタイプ）と、下部フレーム（屋内タイプ、屋外タイプ）を組み合わせて使用します。
- (3) 座位保持装置部品の認定基準及び基準確認方法の試験（適応体重 25kg 超え、50kg 以下）に合格しています。
- (4) ヘッドサポート、アームサポート、レッグ・フットサポートの取り付けが可能です。

組立事例



スリング屋内タイプ



スリング屋外タイプ



モールド屋内タイプ



モールド屋外タイプ

3. 製品の使用方法

- はじめにご確認ください



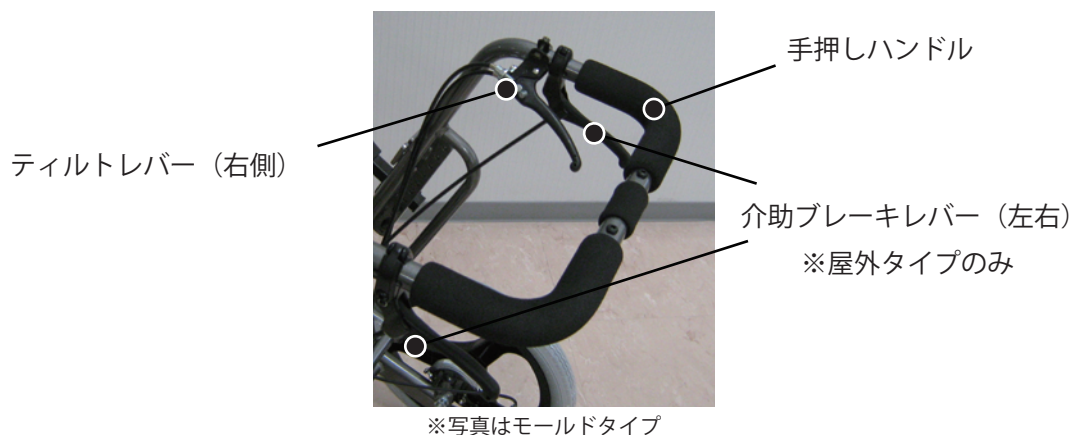
注意

段差を乗り越える際は、手押しハンドルのグリップを手前に引き寄せながら、必ずティッピングバーを踏み込んでください。グリップだけの操作による乗り越えや、間違っず駐車ブレーキペダルを踏み込むと、事故や製品が破損するおそれがあります。



ティッピングバー ※屋外タイプのみ

ティルト・介助ブレーキの操作方法



● ティルトのしかた

ティルトレバーをグリップと一緒に握り、後方（もしくは前方）へ倒し、止めたい位置でレバーを離せば止まります。



注意

ティルト動作は必ず駐車ブレーキをかけて行ってください。
前傾ティルトで使用の際は、乗車者が座位保持装置から倒れて落下したり、前にずれ落ちたりしないように十分注意してください。

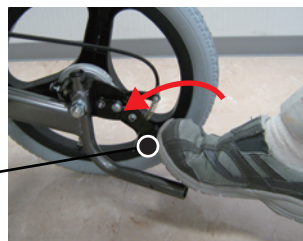
● 介助ブレーキのかけかた ※屋外タイプのみ

左右の介助ブレーキレバーを同時に握ると、介助ブレーキがかかります。

● 駐車ブレーキの操作方法 ※屋外タイプのみ

左右のブレーキペダルを踏み込むと、駐車ブレーキがかかります。上に押し上げるとブレーキが解除されます。

駐車ブレーキペダル



アームサポートの操作方法

角度調節跳ね上げタイプ ※詳細は、専用の取扱説明書をご参照ください

● 跳ね上げのしかた

ロック解除つまみを引っ張ると、ロックが解除されます。アームサポートを上回転させるように上げてください。解除つまみを少し回転させると、解除された状態を固定できます。戻すときは、解除つまみを引っ張り、アームサポートを下ろして、つまみを戻して固定してください。

ロック解除つまみ



● 角度調節のしかた

リリースボタンを押したまま、アームサポートパッドを動かすと、お好みの角度に調節出来ます。角度が決まったらリリースボタンの押さえをはずし、「カチッ」というまで、アームサポートを動かしてください。ロックが掛かります。

リリースボタン



跳ね上げタイプ

● 跳ね上げのしかた

アームサポートを上回転させるように上げてください。戻すときは、下に回転させるように下げてください。



ヘッドサポートの高さ・前後位置・角度の調節のしかた



スリングタイプ

ヘッドサポートフレーム

ヘッドサポート固定用ノブボルト



モールドタイプ

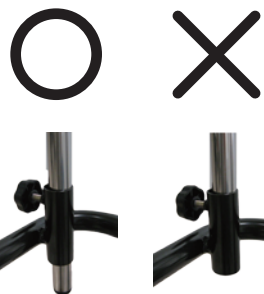
● 高さ調節のしかた

ヘッドサポートを固定している、左右のヘッドサポート固定用ノブボルトを緩めると、ヘッドサポートフレームの高さを上下に調節することができます。調節後は、ノブボルトをしっかりと締め、固定してください。



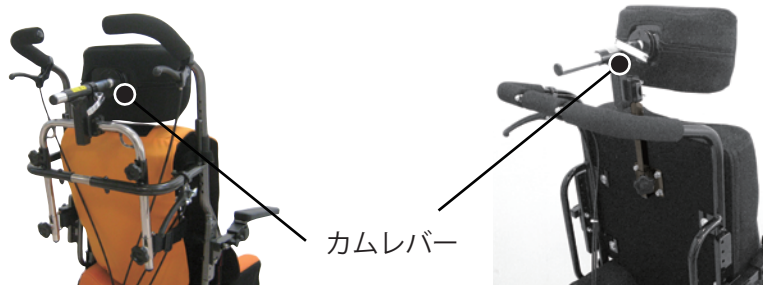
注意

ヘッドサポートフレームが、ヘッドサポート固定用ノブボルトがついているパイプの下から出ている状態で製品を使用してください。
ヘッドサポートフレームが、パイプの下から出ていない状態で使用すると、製品の破損や事故につながるおそれがあります。



● 前後位置の調節のしかた

ヘッドサポート前後位置調節用カムレバーを解除して、任意の前後位置にヘッドサポートを調節します。調節後は、左右のカムレバーを締めてください。（しっかりと固定されたことを確認してください。）
締付けの強さはレバーの反対側のネジで調節してください。



スリングタイプ

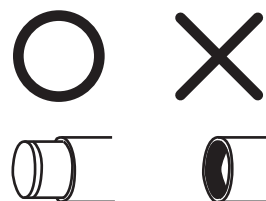
モールドタイプ



注意

ヘッドサポートは、前後位置調節レバーのついているパイプの後端からパイプが出ている状態で製品を使用してください。

後端からパイプが出ていない状態で使用すると、製品の破損や事故につながるおそれがあります。



● 支持角度の調節のしかた

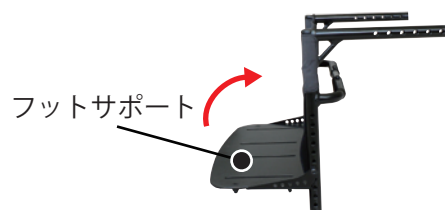
右図のボルトを4mmの六角レンチで緩めると、ヘッドサポートの支持角度を調節することができます。調節後は、緩めたボルトをしっかりと締めてください。（ヘッドサポートがしっかりと固定されたことを確認してください。）



レッグ・フットサポートの操作方法

● フットサポートの跳ね上げのしかた

フットサポートを上回転させるように上げると、跳ね上がります。



● エレベータータイプのしかた

※エレベータータイプのみ

エレベーター調節用ノブボルトを緩めると、レッグ・フットサポートの支持角度を調節することができます。調節後は、緩めたノブボルトの頭が位置決め穴にはまった状態でしっかりと締めてください。左右のフットサポート角度調節ノブを外側に押し出すと、フットサポート支持角度を調節することができます。調節後は、左右のプレートが固定されている事を確認してください。



4. 各部の調節・取り付け方法

本製品はモジュラー式座位保持装置「MOSAIC」専用フレームです。下記の調節や取り付けが必要な際は、専門知識と技術を持った販売店様にご依頼ください。座幅、座面高さ、ティルト角度の変更に関しては、販売店様もしくはメーカーにご相談ください。

骨盤・大腿部の奥行き調節

● レッグサポートフレームの調節

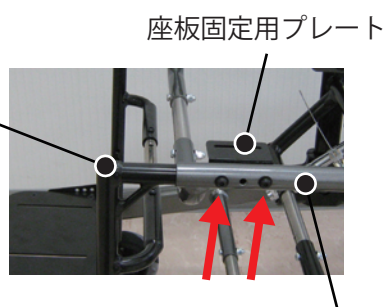
シートフレームとレッグサポートフレームを固定している左右のボルトを外すと、レッグサポートフレームを前後に調節できます。座板固定用プレートを使用する場合は、プレートも一緒に締結してください。調節後は、しっかりと固定してください。



**注意
警告**

人が乗っていない状態で調整を行ってください。調節後はボルトがしっかりと固定されている事を確認してください。

レッグサポート
フレーム



シートフレーム

● バックサポートフレームの調節

シートフレームと角度調整プレートを固定しているボルトを外すと、バックサポートフレームの取り付け位置を前後に調節できます。座板固定用プレートを使用する場合は、プレートも一緒に締結してください。調節後は、しっかりと固定してください。

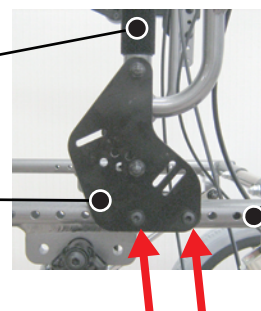


**注意
警告**

人が乗っていない状態で調整を行ってください。調節後はボルトがしっかりと固定されている事を確認してください。

バックサポート
フレーム

角度調整プレート



シート
フレーム

両面角（背・座角）の調節

バックサポートフレームと角度調整用プレートを固定している左右2本のボルトを外すと、両面角（背・座面）を調節できます。角度設定は、90°～110°で5°間隔で設定できます。調節後はしっかりと固定してください。

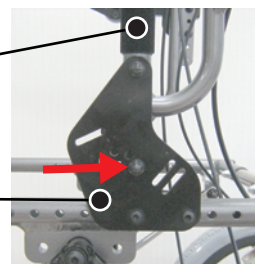


**注意
警告**

人が乗っていない状態で調整を行ってください。調節後はボルトがしっかりと固定されている事を確認してください。

バックサポート
フレーム

角度調整プレート



バックサポート取り付け高さ調節

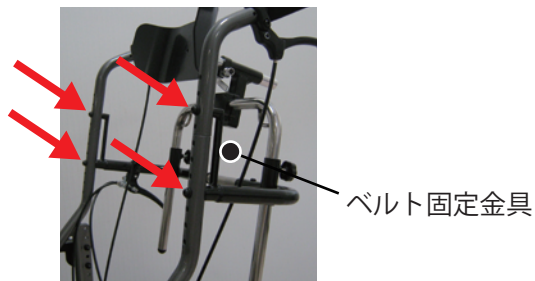
※スリングタイプのみ

ベルト固定金具を固定している左右2本のボルトを外すと、バックサポート取り付け高さを調節できます。調節用のインナーパイプが落ち込む事がありますので、先に下のボルトを外し、上のフレームとパイプが固定された状態で下部の穴位置を調節後、上の位置調整を行ってください。調節後はしっかりと固定してください。



**注意
警告**

人が乗っていない状態で調整を行ってください。調節後はボルトがしっかりと固定されている事を確認してください。



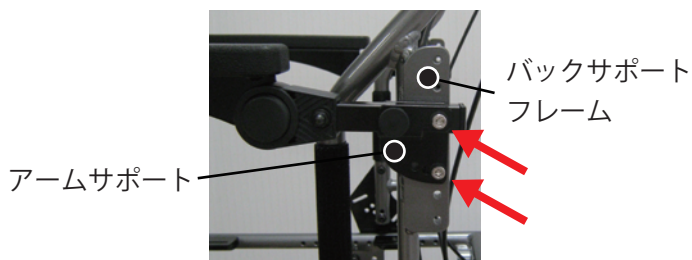
アームサポートの高さ調節

バックサポートフレームとアームサポートを固定している2本のボルトを外すと、アームサポートの高さを調節できます。調整後はしっかりと固定してください。



**注意
警告**

調節後はボルトがしっかりと固定されている事を確認してください。



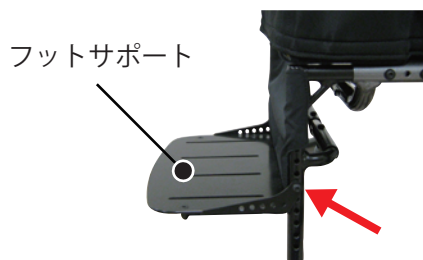
フットサポートの高さ調節

フットサポートを固定している左右のボルトを外すと、フットサポートの高さを調節できます。エレベータタイプは角度調節プレート角度調節ノブも外して高さを調節してください。調整後はしっかりと固定してください。



**注意
警告**

調節後はボルトがしっかりと固定されている事を確認してください。可動がスムーズで跳ね上げ時、自重で落ちてこないことを確認してください。



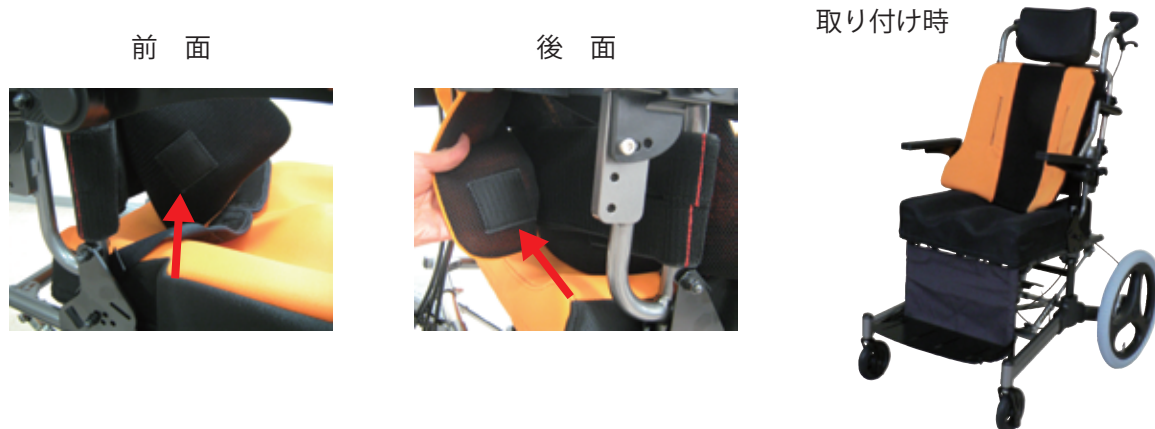
張り調節式バックサポートカバー取り付け方法

※スリングタイプのみ

- ①張り調節式バックサポートカバーを A 面がインナーベルトの前側、B 面が後ろ側になるようにかぶせます。折った部分がインナーベルト（胸郭支持ベルト）のトップにあたるようにかぶせてください。



- ②張り調節式バックサポートカバー裏面についている面ファスナーをインナーベルトに張り付け固定してください。

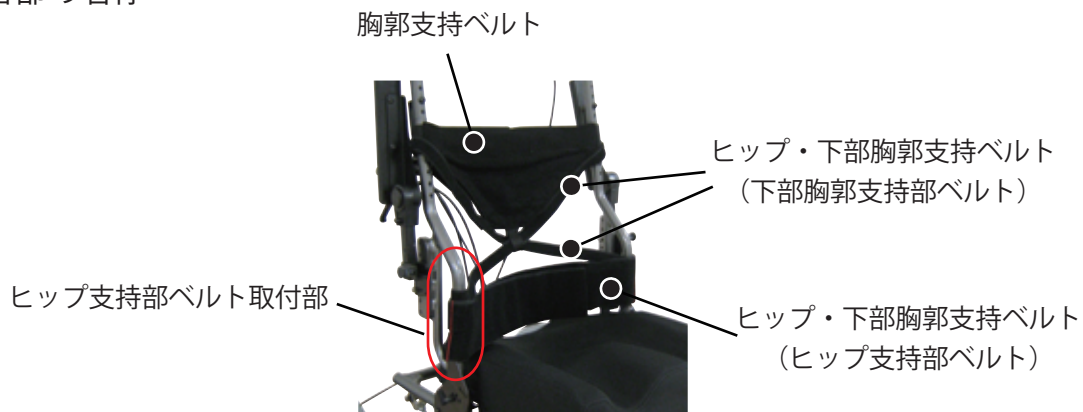


バックサポートインナーベルトの設定・調整方法

※スリングタイプのみ

設定及び調整につきましては、専門知識と技術を持った販売店様や医療従事者（医師、療法士など）の方々にご依頼ください。

● 各部の名称

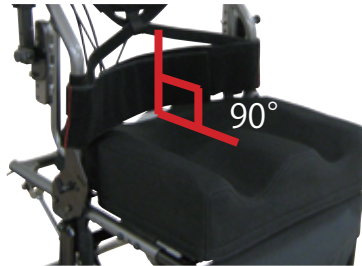


● ヒップ支持部の設定

ヒップ支持部の設定は「骨盤を起こす場合」「骨盤が寝ている場合」の2種類あります。御使用者の姿勢に合わせて選択してください。

① 骨盤を起こす場合

ヒップ支持部ベルトをしっかりと貼り合わせます。座クッション面に対し、ヒップ支持部ベルト面がほぼ垂直（約90°）になるように設定します。



② 骨盤が寝ている場合

ヒップ支持部ベルトをしっかりと貼り合わせます。座クッション面に対し、ヒップ支持部ベルト面が鈍角（90°超）になるように設定します。



● 下部胸郭支持部の設定

下部胸郭支持部ベルトをヘッドサポートフレーム受け部の上から通し、ベルト裏側でしっかりと貼り合わせます。ベルトの重なりはどちらが上でも可です。



● 胸郭支持部の設定

胸郭支持ベルトをヘッドサポートフレーム受け部の上から通します。（下部胸郭支持部ベルトのすぐ上に取り付けます。）胸郭支持ベルトにたるみがないように張り、ベルト裏側でしっかりと貼り合わせます。下部は下部胸郭支持ベルトが交差する場所で後ろに折り返してしっかりと貼り合わせます。



**注意
警告**

調節後は、各ベルトが面ファスナーでしっかりと固定され、フレームからはずれないことを確認してください。インナーベルトはすべてを正しく取り付けてください。一部のベルトを省いたり、説明書記載と異なる取り付け方をして使用したりしないでください。ベルトが破れていたり、面ファスナーがしっかりと効かなくなっている場合などは使用を中止し、販売店に部品交換を依頼してください。

● バックサポートの張り具合の調整

バックサポートシートを装着したまま、バックサポートシート後面の面ファスナーをインナーベルトから外し、バックサポートシートの後ろ側をめくり上げて、インナーベルトを調整します。

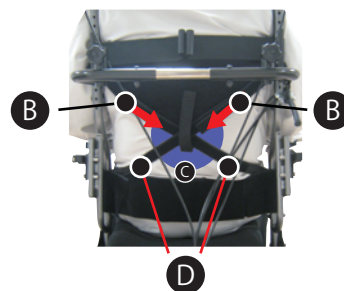


**注意
警告**

説明写真では、調整方法を分かりやすくするために、バックサポートを省略しています。実際に調整する際は、バックサポートシートを装着し、後ろ側だけをめくり上げた状態で調整をしてください。

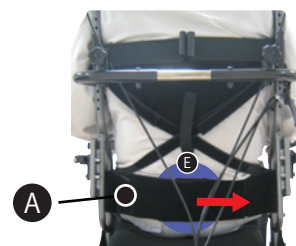
① 下部胸部支持ベルトを調整します。

Bのベルトを引張り、C部の隙間をなくします。C部の隙間がなくなった状態から、さらにBのベルトを1～2cm引張ります。BのベルトをDのベルトにしっかりと貼り合わせて固定します。



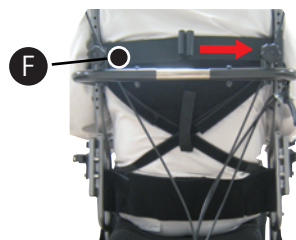
② ヒップ支持部ベルトを調整します。

お尻とベルトAの間に隙間がある場合、E部の隙間がなくなるように、Aのベルトの張りを調整します。ベルトの合わせ面を1cm程度きつめに張り、しっかりと貼り合わせて固定します。お尻とベルトAの間に隙間がない場合は調整は不要です。※体が後ろに傾きすぎている場合は、Aのベルトをゆるめ、お尻の位置を後ろにずらすことで、座る角度を変更することができます。



③ 胸部支持ベルトを調整します。

ベルトの当たりが強い場合、Fのベルトを1～2cmゆるめて、しっかりと貼り合わせて固定します。ベルトの当たりが気にならない場合は調整は不要です。※ゆるめすぎると体幹がくずれやすくなりますのでご注意ください。



④ 全てのインナーベルトが面ファスナーでしっかりと固定されていることを確認し、めくり上げていたバックサポートシートを元にもどし、バックサポートシート後面の面ファスナーをインナーベルトに張り付け固定してください。



**注意
警告**

インナーベルトの調整は、必ず、手順通りに行ってください。一度に全てのベルトの面ファスナーをはずすと、乗車者が落下しケガをするおそれがあります。バックサポートの張り調整は、必ず駐車ブレーキをかけて行ってください。ベルトが破れていたり、面ファスナーがしっかりと効かなくなっている場合などは使用を中止し、販売店に部品交換を依頼してください。

転倒防止装置

※オプション（屋外タイプのみ）

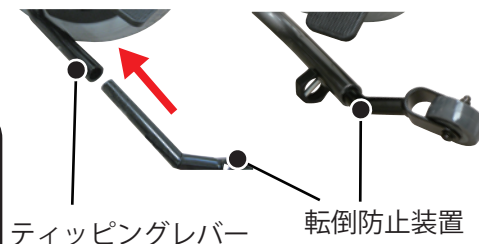
ティッピングレバーにしっかり差し込み、付属のピンで固定します。右側用、左側用とも、確実に取り付けてください。



注意

転倒防止バーをティッピングレバーとして使用しないでください。（転倒防止バーを足で踏まないでください。）
転倒防止バーを持って本体を持ち上げないでください。
使用前には、転倒防止装置が左右とも確実に固定されていて、抜けたり回ったりしないことを確認してください。
転倒防止装置を使用の際は、かならず左右両方に転倒防止装置を設置してください。片側だけを設置して使用しないでください。

※写真は右側



胸ベルト

※オプション

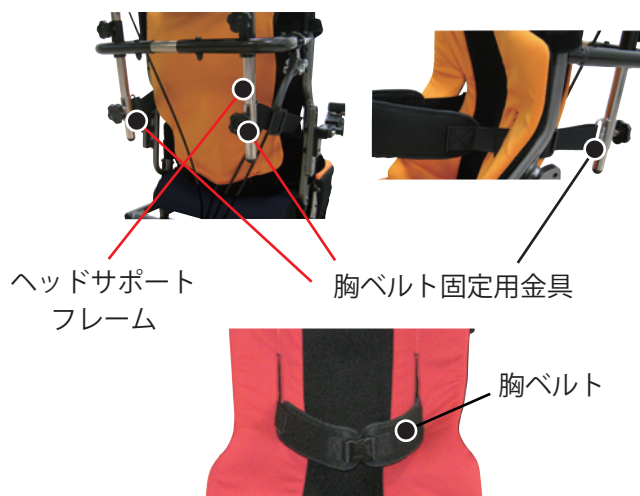
スリングタイプ

ヘッドサポートフレームの胸ベルト固定用金具に取り付け、張り調節式バックサポートカバー（オプション）のスリットを通してバックルで開閉します。



注意 警告

固定・調節等が正しく行われているか、定期的を確認してください。



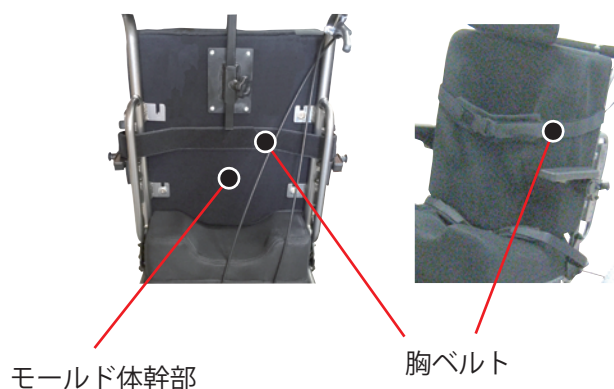
モールドタイプ

モールド体幹部の裏面に面ファスナーのメス等を取り付け、胸ベルトを張り付けて固定してください。モールド体幹部側面より前方へ出し、バックルで開閉します。



注意 警告

固定・調節等が正しく行われているか、定期的を確認してください。



骨盤ベルト

※オプション

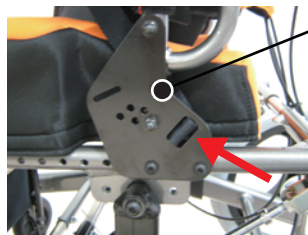
スリングタイプ

角度調節プレート後側のスリットを利用し、骨盤ベルトを固定してください。バックルで開閉します。



注意
警告

固定・調節等が正しく行われているか、定期的を確認してください。



角度調節プレート



骨盤ベルト

モールドタイプ

角度調節プレート後側のスリットを利用し、骨盤ベルトを固定してください。(スリングタイプ参照) もしくは、モールド座面部の裏面に面ファスナーのメス等を取り付け、骨盤ベルトを張り付けて固定してください。バックルで開閉します。



注意
警告

固定・調節等が正しく行われているか、定期的を確認してください。



5. 支持部の取り付け方法

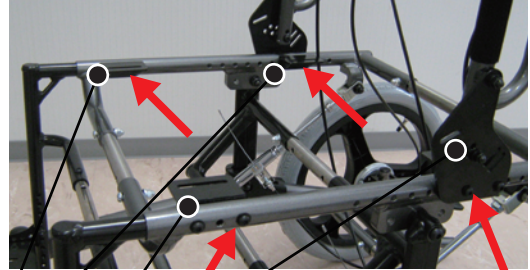
骨盤・大腿部の取り付け方法

座板固定用プレート（4個）の取り付け穴を利用してビスやボルトで取り付けてください。



**注意
警告**

人が乗っていない状態で調整を行ってください。調節後はボルトがしっかりと固定されている事を確認してください。



座板固定用プレート

体幹部の取り付け方法

※モールドタイプのみ

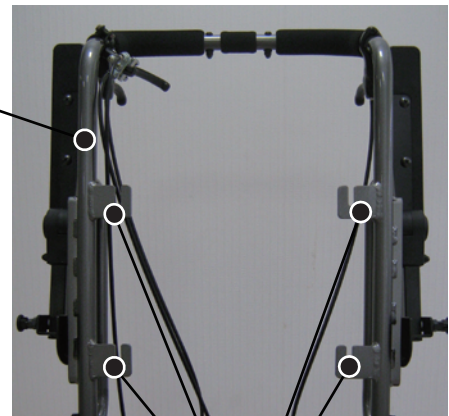
バックサポートフレームにある4箇所の切れ込みを利用して、ビスやボルトで取り付けてください。



**注意
警告**

人が乗っていない状態で調整を行ってください。調節後はボルトがしっかりと固定されている事を確認してください。

バックサポートフレーム



切り込み

6. 安全にお使いいただくために

安全に永くお使いいただくために、以下の記載内容を充分ご理解の上、ご使用ください。

- ご使用前に、必ず各部の点検を行ってください。また、ご使用中に動作不良、異音、振動等の異常があれば、修理または部品交換が必要です。直ちに使用を中止し、販売店にご連絡ください。
 - ・ネジ類のゆるみや欠落はありませんか。
 - ・前輪キャスターに変形・破損・ゆるみはありませんか。
 - ・主輪タイヤの空気圧が減っていませんか。(屋外タイプのみ)
 - ・主輪タイヤの溝が減っていませんか。(屋外タイプのみ)
 - ・足踏みブレーキがしっかり利きますか。(屋外タイプのみ)
 - ・介助ブレーキはしっかり利きますか。(屋外タイプのみ)
 - ・介助ブレーキのワイヤーの張り調節は適当ですか。また、正常の動作しますか。(屋外タイプのみ)
 - ・ティルトのワイヤーの張り調節は適当ですか。また、正常に動作しますか。
- 正しい使用方法、手順でご使用ください。
 - ・本取扱説明書に記載した要領、手順委以外でご使用にならないでください。
 - ・使用者の体格や症状に合わせて、各部を調節してからご使用ください。
 - ・座シートの下や車輪など可動部には触れないでください。また、使用者の手や衣類が入り込まないようにしてください。
 - ・改造や分解をしないでください。
- 介助者が付き添って、使用者を確実にサポートしてください。
 - ・移乗する時は、必ず介助者がサポートしてください。
 - ・介助者が車椅子から離れる場合は、必ずパーキングブレーキをかけてください。
 - ・使用中に使用者の姿勢が崩れた場合は、すぐに姿勢を立て直してあげてください。
- 平坦で、硬くて、滑りにくい、安全な場所でお使いください。
 - ・急な斜面、凹凸や段差（階段など）、および障害物のある所ではご使用にならないでください。
 - ・横に傾斜した場所では、低い方に急に向きが変わったり、動き出すことがありますのでご注意ください。
 - ・凍結したり、滑りやすい床や路面ではご使用にならないでください。
 - ・ぬかるみ毛足の長いカーペットなど、柔らかくて介助走行が困難なところではご使用にならないでください。
- 目的以外の使い方をしないでください。
 - ・一度に2人以上が乗車したり、許容を超える荷重をかけないでください。
 - ・物品の運搬や、踏み台の代わりに使用しないでください。
 - ・肘掛、背もたれの上に座ったり、フットレストの上に立ち上がったりしないでください。
- 外力によって動かさないでください。
 - ・バイク、自転車、ウインチなどで引っ張ったり押ししたりして動かさないでください。
 - ・介助者が誘導する場合も、必要以上に大きな力で押ししたり、歩行速度以上の速い速度で移動させないでください。
- 高温の場所でお使いになられたり、保管しないでください。
 - ・50℃を超える高温や-20℃以下の極低温の場所でのご使用や保管はお止めください。
 - ・直射日光を受けない、乾燥した涼しい屋内に保管してください
 - ・浴室やサウナの中ではご使用にならないでください。

7. お手入れ方法

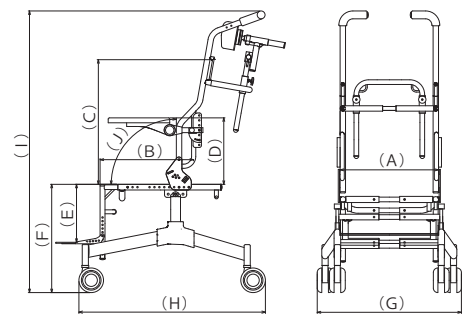
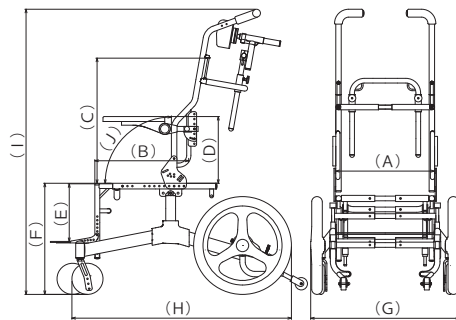
- ぬれた場合は乾いた布で拭き取ってください。
- シートやフレームが汚れたら、中性洗剤を水で薄めてスポンジに含ませて拭いた後に、乾いた布で拭き取ってください。

※本製品を破棄するときは、お住まいの地方自治体の指導に従って処分してください。

8. 仕様

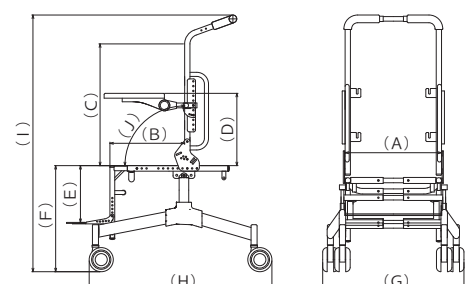
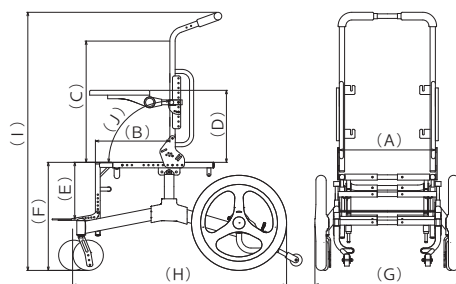
寸法表 (単位:ミリ)

スリング屋外タイプ					スリング屋内タイプ			
-----------	--	--	--	--	-----------	--	--	--



サイズ	S	M	L	LL	S	M	L	LL
A: 座幅	320	360	400	440	320	360	400	440
B: 座奥行き(ピッチ20mm)	220~340	240~380	300~480	320~540	220~340	240~380	300~480	320~540
C: 背高さ(ピッチ20mm)	410~470		485~545		410~470		485~545	
D: アーム高さ(ピッチ20mm)	180~280	220~280	250~330		180~280	220~280	250~330	
E: 足台高さ(ピッチ15mm) (下段:エレベータリングタイプ)	105~255 (70~205)	120~255 (85~205)	160~295 (125~245)	220~355 (185~305)	105~255 (70~205)	120~255 (85~205)	160~295 (125~245)	220~355 (185~305)
F: 座面高	400		450	500	360	400	450	500
G: 全幅	525	565	605	645	505	545	585	625
H: 全長	890 (屋外ショートタイプ:790)				758 (屋内ショートタイプ:645)			
I: 全高	F: 座面高 + 625		F: 座面高 + 705		F: 座面高 + 625		F: 座面高 + 695	
J: 背座間角度	90°・95°・100°・105°・110°				90°・95°・100°・105°・110°			
適応身長	85cm~120cm	95cm~130cm	110cm~150cm	130cm~160cm	85cm~120cm	95cm~130cm	110cm~150cm	130cm~160cm
耐荷重	50kg				50kg			

モールド屋外タイプ					モールド屋内タイプ			
-----------	--	--	--	--	-----------	--	--	--



サイズ	S	M	L	LL	S	M	L	LL
A: 座幅	320	360	400	440	320	360	400	440
B: 座奥行き(ピッチ20mm)	210~330	295~475	295~515	355~575	210~330	295~475	295~515	355~575
C: 背高さ(ピッチ20mm)	505				505			
D: アーム高さ(ピッチ20mm)	240~400				240~400			
E: 足台高さ(ピッチ15mm) (下段:エレベータリングタイプ)	105~255 (70~205)	120~255 (85~205)	160~295 (125~245)	220~355 (185~305)	105~255 (70~205)	120~255 (85~205)	160~295 (125~245)	220~355 (185~305)
F: 座面高	400		450	500	360	400	450	500
G: 全幅	525	565	605	645	505	545	585	625
H: 全長	890 (屋内ショートタイプ:790)				758 (屋内ショートタイプ:645)			
I: 全高	F: 座面高 + 625				F: 座面高 + 615			
J: 背座間角度	90°・95°・100°・105°・110°				90°・95°・100°・105°・110°			
適応身長	85cm~120cm	95cm~130cm	110cm~150cm	130cm~160cm	85cm~120cm	95cm~130cm	110cm~150cm	130cm~160cm
耐荷重	50kg				50kg			

保証書

製品の品質につきましては万全を期しておりますが、万一故障した場合はお買い上げになった販売店、または弊社へ保証書を添えて修理をお申し付けください。

1) 保証条件

海外でのご使用に対しては保証されません。日本国内において通常のご使用で保証期間内に発生した故障につきましては無償で修理させていただきます。

但し、保証期間内を過ぎている場合や、下記保証除外項目に該当する場合は、有償での修理となります。また、貸与（レンタル）されたものをご使用の場合は、貸与事業者と貸与を受けている方の間の貸与契約が適用されます。

2) 保証条件 ご購入日から1年間

3) 保証除外項目

①取扱説明書、及び製品に付属する注意書きに記載された取扱方法と異なる使用をされた場合、または仕様・性能の限度を超えた使用による損傷。

②シートカバー、タイヤ、チューブ、電池等の付属品、消耗品。

③塗装面、部品の自然退色、ご使用に伴う表面の摩擦傷など経時劣化に起因する損傷。

④弊社純正部品以外の使用または、当社が指定した技術者以外によって改造等が行われた場合。

⑤納入後のお客様による運搬時の落下等による損傷。

⑥天災・火災・交通事故などの災害・不慮の事故、犯罪、または第三者の過失に起因する損傷。

⑦戦争・暴動・内乱などによる損傷。

⑧保証書のご提示がない場合、または保証書にお買い上げ日、店名の記載、捺印が無い場合。

⑨保証修理中の、代替品購入・貸与費用または、交通費など、本品が使用できなかった事による損失。

4) 保証書にお買い上げ店名や日付の記載が無かった場合は、領収書等のお買い上げになった事、及び日付を証明できる書面を保管しておいてください。修理の際は、その書面を保証書と共にご提示ください。

5) 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管ください。

保証対象製品の表示				
製品名		モジュラー式座位保持装置「MOSAIC」		製造番号
ご購入日（お引渡日）		年 月 日		保証期間 1年間
ご使用者	(ふりがな) お名前			
	ご連絡先		電話	
販売店	販売店・特約店名			
	連絡先		電話	
	担当者名			
製造者	会社名	株式会社有菌製作所		
	連絡先	〒805-8538 北九州市八幡東区東田1丁目7-5	電話 FAX	093-661-1010 093-661-1670